

令和 7 年 生坂村議会

第 3 回 臨時会 会議録

令和 7 年 8 月 5 日 開会

令和 7 年 8 月 5 日 閉会

生 坂 村 議 会



告示第25号

令和7年第3回生坂村議会臨時会を次のとおり招集する。

令和7年7月25日

生坂村長 藤 澤 泰 彦



記

1. 期 日 令和7年8月5日

2. 場 所 生坂村議会議場

3. 付議事件

(1) 令和7年度一般会計補正予算【第2号】

令和 7 年第 3 回 生坂村議会定例会議事録（8 月臨時会）

1 日目（8 月 5 日）

○補正予算案 1 件
・令和 7 年度生坂村一般会計補正予算（第 2 号）
○議員派遣の件

・ 会議録署名議員の指名	4 P
・ 会期の決定	4 P
・ 村長挨拶並びに提案理由の説明	5 P
・ 補正予算案の朗読説明	6 P
・ 質疑、討論、採決	6 P
・ 村長挨拶	8 P
・ 閉会	9 P

令和7年第3回 生坂村議会臨時会

令和7年8月5日
午後2時30分 開会

議 事 日 程

日程	議案番号	件 名	備 考
		開 会	
1		会議録署名議員の指名	
2		会期の決定	
3	議案第41号	令和7年度生坂村一般会計補正予算【第2号】	
		質疑・討論・採決	
4		議員派遣の件	
		閉 会	

出席議員（8名）

1番	進 藤 彩 君	2番	望 月 一 将 君
3番	島 幸 恵 君	4番	山 本 吉 人 君
5番	藤 澤 幸 恵 君	6番	太 田 譲 君
7番	平 田 勝 章 君	8番	市 川 壽 明 君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

地方自治法第121条の規定により朗読のため出席した者の職氏名

村 長	藤 澤 泰 彦 君	振 興 課 長	眞 島 弘 光 君
副 村 長	牛 越 宏 通 君	住 民 課 長	坂 爪 浩 之 君
教 育 長	藤 澤 正 司 君	健康福祉課長	松 沢 昌 志 君
総 務 課 長	中 山 茂 也 君	教 育 次 長	藤 澤 保 君

事務局職員出席者

議会事務局長	平 林 邦 寿 君	書 記	田 中 翔 太 君
--------	-----------	-----	-----------

開会 午後2時30分

◎開会及び開議の宣言

○議長(藤澤幸恵君) 起立。礼。着席してください。

○議長(藤澤幸恵君) これより、令和7年第3回生坂村臨時議会を開会します。

本日の会議に先立ち申し上げます。

本臨時会はクールビズのため、暑いようでしたら、上着等はお脱ぎください。また、感染症予防対策のため、適宜、休憩、換気を行い、マスクの着用につきましては、個人判断とします。

○議長(藤澤幸恵君) これから本日の会議を開きます。

○議長(藤澤幸恵君) 本日の議事日程は、配付してあるとおりです。

◎日程1・会議録署名議員の指名

○議長(藤澤幸恵君) 日程1・会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により、4番 山本議員、6番 太田議員を指名します。

◎日程2・会期の決定

○議長(藤澤幸恵君) 日程2・会期の決定の件を議題にいたします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日の1日間にしたいと思います。

ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

○議長(藤澤幸恵君) 異議なしと認めます。

よって会期は本日の1日間に決定しました。

◎提出議案の報告

○議長(藤澤幸恵君) 本臨時会に提出されている案件は、議案第41号「令和7年度生坂村一般会計補正予算(第2号)」の予算案1件であります。

◎村長挨拶・提案理由の説明

○議長(藤澤幸恵君) ここで、村長挨拶並びに提案理由の説明を求めます。

○村長(藤澤泰彦君) 議長。

○議長(藤澤幸恵君) 村長。

○村長(藤澤泰彦君) 皆さん、お疲れ様でございます。

それでは令和7年第3回生坂村議会臨時会の開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。

梅雨明けから大暑となり暦以上の記録的な猛暑が続きましたが、明日からは少ししのぎやすい日々が続く天気予報となっております。議員各位におかれましては、公私ともにご繁忙の折、全員のご参集をいただき、ありがとうございます。日頃は村政運営に対しまして、ご指導、ご鞭撻を賜ってますことに感謝を申し上げる次第でございます。

それでは、今臨時会に提出いたします補正予算の山村活性化対策事業の概要につきましては、山村の特徴ある農林水産物や、固有の自然・景観、伝統文化等の地域資源を活用した新商品の開発・販売等を通じ、地域経済の活性化を図り、所得・雇用の増加を目指す取り組みに対し支援するものでございます。

生坂村の当事業の目的としまして、当村は平地が少なく、周囲を山に囲まれ、ぶどう栽培以外は経営規模が零細で、生産性が低く、後継者不足や兼業化の進展で、農業の持続化が深刻な状況にありますので、田舎暮らしを希望する農業者や高齢者、女性など、村民の皆さんが元気に地元を守り育てる活気のある村を目指し、活用できる地域資源で、他地域と差別化した魅力あるオンリーワンの商品化の創作に向けた積極的な展開を考えているところであります。

この実現しようとして、当村で生産される米、そば、ぶどう、野菜、ハチクなど、新鮮で多様な農・林産物を使用した新たなメニュー開発や、郷土料理・伝統料理を経験豊かな高齢者の知恵や技を取り入れた食の伝承などにより、地域資源を活用した山間地域の食事を味わい、楽しむ観光客の誘客、村内圃場での米作りや野菜作りなどの農業体験、子供を対象にした食育等教育的な思考を付加した教育旅行等の商品化を実現したいと考えております。それらにより、近隣市町村はもとより、首都圏等の子供から大学生と家族が来訪し、田舎で「食べる・観る・遊ぶ」旅行の新規パックの商品を創出し、観光客や二地域居住者等の関係人口の増加により、誰もが自慢できる村づくりを目指してまいります。

よって地域の魅力のブラッシュアップにより、今までにない「いくさか」ならではの「食と技を通じた賑わいのある地域社会」の実現を図りたいと考えております。今後も村民の皆さんに様々な情報提供媒体で村政運営に関して多くの情報をお知らせし、村民の民意を把握し、村民主役の村政運営に努めてまいりますので、引き続き、議員各位にもご理解とご協力をお願いする次第でございます。

それでは、今議会臨時会に提出させていただきました議案は、補正予算案1件でございます。議案第41号「令和7年度生坂村一般会計補正予算(第2号)」

この議案は、農林水産省の山村活性化対策事業に係る補正予算で、既定の額に歳入歳出それぞれ1007万6000円を追加して、総額を36億8144万4000円とする補正予算であります。

歳入で、地方交付税7万6000円、国庫支出金1000万円を増額し、歳出では、農林水産業費を1007万6000円を増額する補正予算としております。

以上の議案でございます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げ、挨拶並びに議案の説明とさせていただきます。

○議長(藤澤幸恵君) 提案理由の説明が終わりました。

◎日程３・議案第41号

○議長（藤澤幸恵君） 日程３・議案第41号「令和７年度生坂村一般会計補正予算（第２号）」を議題にします。担当者の朗読説明を求めます。

○総務課長（中山茂也君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 総務課長。

○総務課長（中山茂也君） （総務課長 朗読説明）

○振興課長（真島弘光君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 振興課長。

○振興課長（真島弘光君） （振興課長 朗読説明）

○議長（藤澤幸恵君） 以上で議案の朗読説明を終わります。

◎質疑・討論

○議長（藤澤幸恵君） 議案第41号について、質疑・討論に入ります。
質疑・討論のある方の発言を許します。

はじめに質疑はありませんか。

○議長（藤澤幸恵君） 次に、反対討論はありませんか。

○３番（島幸恵君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） ３番 島議員。

○３番（島幸恵君） ３番 島幸恵です。議案第41号「令和７年度生坂村一般会計補正予算（第２号）」について、反対の立場から討論をいたします。

先ほど説明を伺いまして、課長・係長の皆さん、村長はじめ、一生懸命これは考えてくださっていたこと、すごくよくわかります。

しかし、私は村の農業未来づくりプロジェクト会議に出させていただいて、昨年度までの農山漁村振興交付金これを使って、農泊体験ツアーや、相模女子大との交流されていたんですけども、その成果としましては、やまなみ荘の売り上げ、道の駅いくさかの郷の売り上げが伸びた、目標が達成された、ということが成果として報告をされています。

しかし、この農泊体験ツアーや相模女子大との交流、これによって、売り上げが伸びたのか、そこのところは、私は疑問であります。今回の山村活性化対策事業補助金を使って、商品開発またツアーパッケージの新しいものの開発などが目標とされているわけですが、今回と、やはりこの前回の取り組みというものの違い、これが私は説明を受けましたが、あまり違いがないのではないかと、そんなふうに思いました。

ツアーの開発については、第2のふるさとづくりプロジェクトなどでも、生坂村の新しいツアー開発というものはされています。この山村活性化対策事業補助金については、村が活性化し、皆さんの所得が増え、雇用が増える、これが目標とされています。この目標のためには、もっと違う使い道があるのではないかと、そんなふうに思いました。

私達議会の役割というものも、今回だけではなく、ずっと考えています。説明をされて、予算を認めるのか、認めないのか、判断することだけが、議会の議員の役割ではないと思っています。私達議員も、もっと予算の使い方、こうした方がいいんじゃないかと、そんな提案をしたり、皆さんの生活のために、よりよく税金が使われるのにはどうしたらいいかと、もっと議論をしたり、する必要があると思っています。

今回、臨時議会においては、議会運営委員会はありませんが、予算書というものが初めて議会の前に、金曜日に配られました。すごくありがたいなというふうに思いました。すみません。私としては、初めてのことでした。前に配られたことがあるのかもしれませんが、いろいろな情報というのは、議長も行政側にお話してくださって、改善されてきていると思います。本当にありがたいことです。私は、議会議員として、税金の使い方、もっと皆さんの暮らしのために、所得や雇用の増加に繋がるために、議員としても、加わっていきたく、そんなふうに思っています。ですので、今回説明をいただいたのですが、もう少し私は議会としても、議論をしたり、提案したりする必要があると思ひ、反対討論に立たせていただきました。以上です。

○議長（藤澤幸恵君） 次に、賛成討論はありませんか。

○7番（平田勝章君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 7番 平田議員。

○7番（平田勝章君） 7番 平田勝章でございます。

今回の事業について、賛成の立場から討論をしたいと思います。

私も、これまでに地元住民として、村でいろいろの事業を行ってきました。またそれについて蛍の会とかおひさまクラブとか、ハチクの会とかそういうところ、あるいは「こなもん」とかね。そういうようなところでいろいろなところに私も入りまして、皆さんと村の職員と一緒にこの事業にいろいろ事業を手伝ってきました。

一番大事なものは、いわゆる村の活性化ということで、交流人口をまず増やす、それが一番大事だと思います。これはすぐに痛いところに薬を塗って治ると、そういうような簡単なものではなくて、長い時間をかけて少しずつでも開発していかなければ、なかなか皆さんの理解が得られないということも、実際自分体験の中では覚えております。ですので、今回もこの山村活性化対策事業の中でまず交流人口を増やすことが一つで、説明の中でもあったように大事だということでもあります。

また、新商品の開発、これも今過去に我々の先輩方もいろいろな開発をしてきましたけども、ある程度、議会の改革なんかもそうなんですけども、ある程度までいくと、そこからなかなか殻を抜け出せない、そういうようなところから今回は特に大学の先生に加わっていただいて、違う目から見ていろいろな開発も期待できるんじゃないかと、私は思います。

また、やまなみ荘は、生坂村の福祉センターでもありますし、村住民がここを拠点にして、あるいは道の駅もそうなんですけども、これも拠点にしていろいろなことを、ここからみんな、村民が元気をもらっているのは現実でありますので、ぜひ山村活性化対策事業、これをまたいろいろな今までも、わずかなことでも、悪い面も良い面もそれはあるかと思いますけども、悪い面はまた反省をして、また次の中で生かすようなことをしてやっていただいて、さらに中身の充実を

してもらいたいということです。そういうことで、そういう意味も含めて、私は今回の事業は賛成としました。以上です。

○議長（藤澤幸恵君） 他にありませんか。

○議長（藤澤幸恵君） なければ討論を終わります。

◎採決

○議長（藤澤幸恵君） これより採決に入ります。

議案第41号「令和7年度生坂村一般会計補正予算（第2号）」について採決します。

議案第41号を原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

○議長（藤澤幸恵君） 挙手多数です。

よって議案第41号は原案のとおり可決することに決定しました。

◎日程4・議員派遣の件

○議長（藤澤幸恵君） 次に、日程4・議員派遣の件を議題とします。

お諮りします。

議員派遣の件については、お手元にお配りしてあるとおり派遣することにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

○議長（藤澤幸恵君） 「異議なし」と認めます。

よって、議員派遣の件は、お手元にお配りしたとおり派遣することに決定しました。

◎村長挨拶

○議長（藤澤幸恵） 以上で本臨時会に付された日程は全て終了しました。

本日の会議を閉じます。ここで、村長の挨拶を求めます。

○村長（藤澤泰彦君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 村長。

○村長（藤澤泰彦君） それでは、令和7年第3回生坂村議会臨時会の閉会にあたり、御礼のご挨拶を申し上げます。

本日は提出しました議案を慎重にご審議いただき、原案のとおりご採択いただき、誠にありがとうございました。6月定例会でお認めいただきました総務省の「地域活性化起業人制度」につきましては、7月15日に地域活性化企業人事業選定委員会を開催し、選定の結果、企業派遣型事業では、株式会社フェローズ様、副業型事業では務台俊介様を選定させていただきました。

そして、7月28日には生坂村地域活性化企業人協定締結式を行い、企業派遣型事業ではＩＣＴやＤＸ、ＡＩ等のノウハウを活用した持続可能な地域創生の推進に取り組み、副業型事業では、脱炭素事業の推進や移住定住対策、地域防災力の向上などの課題解決と持続可能な地域づくりなどを進めてまいります。

生坂村は、人口減少・少子高齢化対策が重要課題であります。山紫水明の豊かな自然、先人が築き上げてきた伝統文化を守り、村民の皆さんで力を合わせて次世代に繋ぐ持続可能な生坂村を構築していかなければと考えておりますので、議員各位には、ご健勝にて引き続きご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、閉会に当たりましてのお礼の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

◎閉会の宣言

○議長（藤澤幸恵君） 本臨時会の会議に付された事件につきまして、慎重審議をいただいたことに深く感謝申し上げます。

以上をもちまして、令和7年第3回生坂村議会臨時会を閉会とします。

○議長（藤澤幸恵君） 起立。礼。大変ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時58分

地方自治法第123条の規定により署名する。

令和 7 年 8 月 5 日

議 長 藤 澤 幸 寛

署名議員 山 本 吉 人

署名議員 石 田 隆